

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 毎日コムネット

コード番号 8908 URL <http://www.maicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 小野田 博幸

TEL 03-3548-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	3,145	4.8	340	0.2	300	6.4	168	11.6
26年5月期第1四半期	3,002	11.6	340	32.4	282	44.1	151	53.1

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 168百万円 (12.3%) 26年5月期第1四半期 150百万円 (51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	18.73	—
26年5月期第1四半期	16.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	12,346	5,192	42.1
26年5月期	11,602	5,212	44.9

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 5,192百万円 26年5月期 5,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	21.00	21.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,320	4.1	317	△27.8	201	△49.2	80	△65.2	8.89
通期	11,270	11.8	1,072	5.4	1,030	4.0	635	7.5	70.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社毎日コムネットグリーン電力、除外 1社 (社名)
 (注)詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期1Q	9,000,000 株	26年5月期	9,000,000 株
27年5月期1Q	42 株	26年5月期	42 株
27年5月期1Q	8,999,958 株	26年5月期1Q	8,999,958 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、政府による各種経済対策及び日本銀行による大規模な金融緩和策を背景に、企業収益の改善や個人消費が底堅く推移するなど緩やかに回復を続けてまいりました。一方で、欧州における金融不安の長期化や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、依然として先行き不透明な状況となっております。

その状況の中、当社グループの主要顧客層である大学生マーケットにおきましては、平成26年春の大学入学者数は60.8万人、大学生総数は285.4万人（文部科学省「学校基本調査」による）といずれも過去最高水準を維持しております。引き続き、少子化時代にあっても安定的に推移する大学生市場においては、さまざまなサービス分野において学生の多様化するライフスタイルとニーズに応える低廉で高品質なサービスが求められていると言えます。

このような市場環境の中で当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門と不動産マネジメント部門に当第1四半期より新たにエネルギーマネジメント部門を加えた3部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活ソリューション事業」の2事業（セグメント）計5部門で事業展開を図っております。

特に、景気動向の影響を比較的受けにくい不動産ソリューション事業における不動産マネジメント部門は、ますます高まる学生の安心・快適な住居ニーズに支えられ順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,145,428千円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は340,927千円（同0.2%増）、経常利益は300,421千円（同6.4%増）、四半期純利益は168,528千円（同11.6%増）となりました。

① 売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,145,428千円（前年同四半期比4.8%増）となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は2,352,845千円（同3.0%増）、学生生活ソリューション事業の売上高は792,583千円（同10.2%増）となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は562,181千円（同2.9%減）、不動産マネジメント部門は1,790,663千円（同5.0%増）、課外活動ソリューション部門は792,583千円（同10.2%増）、人材ソリューション部門は新卒関連事業を行う持分法適用関連会社「株式会社ワークス・ジャパン」に営業機能を全面移管しているため当第1四半期での売上高の計上はありませんでした。また、当第1四半期より新たに加わったエネルギーマネジメント部門におきましては、当第1四半期での売上高の計上はありませんでしたが、第2四半期以降に太陽光発電施設の稼働が開始する見込みであり、売電による売上高が計上される予定であります。

② 営業利益

当第1四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は450,446千円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は294,326千円（同1.4%減）となりました。これは、不動産デベロップメント部門における物件売却売上高が前年同四半期に比べ減少したことによります。また、学生生活ソリューション事業の売上総利益は382,903千円（同11.7%増）、セグメント利益は228,720千円（同15.5%増）となりました。その結果、各セグメントに配分していない全社費用182,120千円（同16.6%増）を調整し、全社の当第1四半期連結累計期間の営業利益は340,927千円（同0.2%増）となりました。

③ 経常利益

当第1四半期連結累計期間の営業外損益はマイナス40,505千円（前年同四半期はマイナス58,109千円）となり、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は300,421千円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

④ 四半期純利益

当第1四半期連結累計期間の特別損失に固定資産除却損8,137千円を計上したことにより、四半期純利益は168,528千円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は12,346,423千円となり前連結会計年度末に比べ743,968千円増加いたしました。この増加の主な要因は、現金及び預金が949,744千円の増加、流動資産のその他が216,894千円の増加、有形固定資産のその他が23,480千円の増加及び販売用不動産が464,067千円減少したことによります。

負債合計は7,154,290千円となり前連結会計年度末に比べ764,440千円増加いたしました。この増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が218,541千円の増加、流動負債のその他が480,835千円の増加、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が481,500千円の増加、短期借入金が100,000千円の減少、未払法人税等が185,407千円の減少、賞与引当金が63,720千円の減少及び社債が59,200千円の減少したことによるものであります。また、純資産合計は5,192,133千円となり前連結会計年度末に比べ20,472千円減少いたしました。この減少の主な要因は、前期の剰余金の処分による配当金の支払188,999千円及び四半期純利益168,528千円を計上したことによります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の44.9%から42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、自然エネルギーによる発電事業を開始するにあたり、平成26年8月1日付で当社の100%出資となる連結子会社「株式会社毎日コムネットグリーン電力」を設立いたしました。

なお、当該自然エネルギーによる発電事業は、不動産ソリューション事業で行うこととし、「エネルギーマネジメント部門」を新たに不動産ソリューション事業に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,111,993	5,061,738
受取手形及び売掛金	59,093	76,178
販売用不動産	2,289,050	1,824,983
貯蔵品	15,647	10,601
その他	778,582	995,477
貸倒引当金	△142	△137
流動資産合計	7,254,225	7,968,840
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,297,674	1,297,674
その他(純額)	1,111,155	1,134,635
有形固定資産合計	2,408,829	2,432,310
無形固定資産		
投資その他の資産	171,947	188,006
その他	1,734,351	1,727,338
貸倒引当金	△324	△363
投資その他の資産合計	1,734,026	1,726,975
固定資産合計	4,314,803	4,347,291
繰延資産	33,426	30,290
資産合計	11,602,454	12,346,423
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	165,990	384,531
短期借入金	500,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	614,400	301,498
1年内償還予定の社債	453,600	453,600
未払法人税等	229,255	43,848
賞与引当金	99,900	36,180
その他	801,268	1,282,104
流動負債合計	2,864,415	2,901,762
固定負債		
社債	1,159,900	1,100,700
長期借入金	1,120,010	1,914,412
役員退職慰労引当金	203,460	212,460
その他	1,042,064	1,024,955
固定負債合計	3,525,434	4,252,527
負債合計	6,389,849	7,154,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	3,925,360	3,904,890
自己株式	△17	△17
株主資本合計	5,211,593	5,191,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011	1,009
その他の包括利益累計額合計	1,011	1,009
純資産合計	5,212,605	5,192,133
負債純資産合計	11,602,454	12,346,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,002,795	3,145,428
売上原価	2,212,402	2,312,078
売上総利益	790,392	833,349
販売費及び一般管理費	450,047	492,422
営業利益	340,345	340,927
営業外収益		
受取利息	1,796	1,411
受取配当金	139	148
経営指導料	3,696	7,679
その他	1,695	1,758
営業外収益合計	7,327	10,998
営業外費用		
支払利息	11,068	10,103
持分法による投資損失	45,654	32,213
社債発行費等	8,211	7,317
その他	501	1,869
営業外費用合計	65,437	51,504
経常利益	282,235	300,421
特別損失		
固定資産除却損	—	8,137
特別損失合計	—	8,137
税金等調整前四半期純利益	282,235	292,283
法人税、住民税及び事業税	131,587	120,495
法人税等調整額	△357	3,259
法人税等合計	131,230	123,755
少数株主損益調整前四半期純利益	151,005	168,528
四半期純利益	151,005	168,528

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,005	168,528
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△949	△1
その他の包括利益合計	△949	△1
四半期包括利益	150,056	168,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,056	168,527
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,283,744	719,051	3,002,795	—	3,002,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,283,744	719,051	3,002,795	—	3,002,795
セグメント利益	298,567	197,950	496,517	△156,172	340,345

(注)1 セグメント利益の調整額△156,172千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,352,845	792,583	3,145,428	—	3,145,428
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,352,845	792,583	3,145,428	—	3,145,428
セグメント利益	294,326	228,720	523,047	△182,120	340,927

(注)1 セグメント利益の調整額△182,120千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。